くみやま 議会だより

No. 130
平成25年
5月1日号
発行／京都府
久御山町議会

６月定例会の予定

６月４日㈫　開　　会
６月20日㈭　一般質問
６月25日㈫　閉　　会

※日程は、変更することがあります。

３月定例会

定例会議決事項など……２Ｐ～
代表者・一般質問……７Ｐ～
常任委員会閉会中の事務調査報告…１９Ｐ
視察研修報告など……２０Ｐ～
ホープ登場⑲……２２Ｐ

［表紙写真：ドキドキわくわく1年生（佐山小学校入学式）］

ー平成25年度当初予算ー　**3月定例会**　**2月26日～3月27日**

中学校体育館耐震補強・改修工事着工

平成25年第1回定例会は、2月26日から3月27日までの会期で開かれました。

本定例会では、信貴町長の初めての予算編成に対しての施政方針が述べられ、平成25年度当初予算のほか、副町長などの人事案件、条例の制定・一部改正、平成24年度一般会計・特別会計の補正予算など、町長から提案された26議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

当初予算と関係条例については、予算特別委員会を設置し、現地視察も含め、5日間にわたって慎重に審査をおこないました。

施政方針演説がおこなわれる3月定例会では、代表者質問をすることが認められており、5会派の代表者が、一般質問には5人の議員が登壇し、町長の施政方針や当面の課題について、考えをただしました。

平成25年度　会計別予算

会計		予算額	平成24年度当初予算との比較	
			増減額	増減率
一般会計		67億6800万円	▲1億3000万円	▲1.9パーセント
特別会計	国民健康保険	21億1110万円	2710万円	1.3パーセント
	三郷山財産区	460万円	▲20万円	▲4.2パーセント
	公共下水道事業	8億9400万円	▲3530万円	▲3.8パーセント
	介護保険	10億3040万円	2320万円	2.3パーセント
	後期高齢者医療	1億6610万円	580万円	3.6パーセント
水道事業会計		10億3272万円	2億9474万円	39.9パーセント
合計		120億692万円	1億8534万円	1.6パーセント

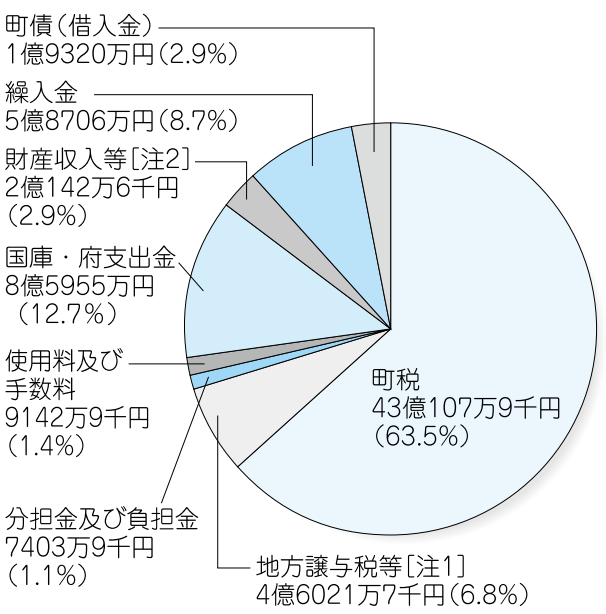
※水道事業会計の予算額は、収益的支出および資本的支出の合計額です。
※万円未満四捨五入（▲＝減）

▽歳入内訳

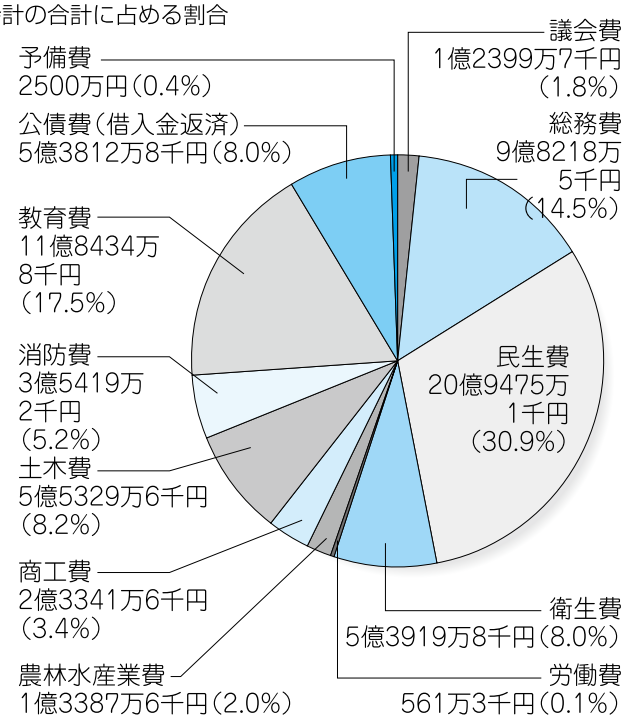
住民1人あたり
約40万8千円

▽歳出内訳（目的別）

（　）内の%は、一般会計の合計に占める割合



［注1］記載のほか、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金等を含む。
［注2］記載のほか、寄付金、繰越金、諸収入を含む。



一般会計 対前年度比1.9パーセント減 ↓

67億6800万円

予算総額 対前年度比1.6パーセント増 ⇧

120億692万円

平成25年度一般会計予算の主な事業

学校教育

◇中学校運営補助事業（給食導入の検討）新規 41万円

◇中学校施設整備事業（体育館耐震補強・改修工事）新規 3億648万円

中学校体育館現地視察

就学前教育

◇幼稚園施設維持管理事業（遊具点検）新規 16万円

高齢者福祉

◇高齢者自立支援事業 568万円

子育て支援

◇子育て支援推進事業（子ども・子育て支援事業計画策定業務）新規 221万円

◇子育て支援医療費助成事業 4653万円

防災・防犯

◇総合防災訓練事業新規 374万円

◇地域防災対策事業（要配慮者支援対策）新規 25万円

公園・緑地

◇ポケットパーク整備事業（用地購入等）新規 1267万円

◇公園維持管理事業（中央公園テニスコート人工芝張替工事等）新規 2654万円

文化

◇山田家住宅長屋門・長塀保存事業（安全対策）新規 149万円

山田家住宅現地視察

消防・救急・救助

◇消防・救急指令装置更新事業 新規 691万円

住民参加

◇広聴事業（住民討議会の開催）新規 29万円

一般会計予算 賛成討論 戸川和子 議員

町税収入が、過去20年間の当初予算比較で、2番目に低い見込み額となるなかで、中学校体育館の耐震化工事をはじめ、これまでから実施されている住民負担軽減策を継続し、さらに子育て支援医療に係る対象者の拡大や住民討議会など、大変厳しい財政状況にあって、安心・安全に対する施策などにも配慮された、堅実な予算編成をされている。

引き続き第5次行政改革大綱に掲げられている改革項目を実行され、健全で持続可能な財政運営に努められることを期待し、賛成討論とする。

一般会計予算 反対討論 三宅美子 議員

教育費の保護者負担の軽減やのってこバスの継続、入院のみではあるが子育て支援医療の中学校卒業までに拡充することは、住民が長年要求してきた施策として評価するものだ。

しかし、保育行政を教育行政に委ねた幼保一体化事業、まちの駅施設運営事業、人権対策費として同和行政の継続、敬老金の節目支給、在宅福祉サービス助成の廃止、佐山保育所耐震化工事着手の手遅れなどは認められない。

財政が厳しくとも本町より優れた住民サービス実施の自治体もある。税の使い方に知恵を絞り、福祉・教育・暮らしを守る町政を求める。

予算特別委員会

5日間の集中審議

9議案を付託

3月定例会に提案された、平成25年度各会計予算等を審査するため、7人の委員で構成された予算特別委員会（委員長＝林勉、副委員長＝島宏樹、委員＝内田孝司、堤健三、岩田芳一、塚本五三藏、三宅美子）を設置しました。

3月15日から25日まで、現地調査も含めて延べ5日間にわたり、付託された9議案の審査をおこないました。

本会議での各会計予算の採決結果

◆一般会計【賛成11人・反対2人】
（討論の内容は3ページに掲載）

◆国民健康保険特別会計（事業勘定）【賛成11人・反対2人】

◆三郷山財産区特別会計【全員賛成】

◆公共下水道事業特別会計【全員賛成】

◆介護保険特別会計【全員賛成】

◆後期高齢者医療特別会計【賛成11人・反対2人】

◆水道事業会計【全員賛成】

総括審査での主な質疑

環境問題

Q PM2・5に対する対応は。

A 観測機器は、設置に約500万円かかる。京都府では山城地域9カ所で測定している。

Q 現在の測定値はどうなっているか。

A 3月9日に本町で51・9マイクログラムを記録している。

山田家長屋門

Q 山田家長屋門の受け入れが不透明なままで事業予算化されているが、進展が見られない。どうなっているのか。

A 地元からの要望は以前より説明しているとおりだ。一般質問などでも説明をしている。修復の度合いによって予算は変わるが、最大で1億円程度が見込まれる。今年度予算においては安全対策費用としての計上になる。

職員資質

Q 役場職員の守秘義務が機能していないのではないか。

A どの部分を指摘されているのか判らないが、事実であれば遺憾だ。徹底していく。

住民討議会

Q 住民討議会に町長は参加するのか。内容は。

A 住民のみの小グループでの討議となる。テーマの設定については今後検討していく。

Q 町政モニター事業があるが連動性はあるのか。

A 別の形と考えている。

3月25日におこなわれた総括審査（予算特別委員会）

副町長に 田中悠紀彦氏

田中副町長

本年3月をもって退任された伏見英順副町長の後任として、田中悠紀彦氏（61歳・東一口）を副町長とすることに賛成多数（賛成11人、反対2人）で選任同意しました。

田中氏は、昭和50年4月より本町職員に採用され、その後、平成19年4月より事業建設部参事、平成22年4月より総務部長を歴任してこられました。任期は4年です。

公平委員会委員に

〈再任〉黒川洋一氏（65歳・田井）

〈新任〉木下康光氏（66歳・林）

人権擁護委員に

〈再任〉藤田玉昭氏（63歳・野村）

公平委員会委員、人権擁護委員ともに、任期満了に伴うものです。全員賛成で選任同意しました。任期はそれぞれ4年です。

条例制定・改正

◆久御山町新型インフルエンザ等対策本部条例制定について【全員賛成】

◆組織・機構再編計画に伴う関係条例の整備に関する条例制定について【賛成11人・反対2人】

◆久御山町長等の給与の額の特例に関する条例一部改正について【全員賛成】

◆久御山町国民健康保険税条例一部改正について

反対討論　巽　悦子議員

賛成討論　中　大介議員

※下記のとおり

【賛成11人・反対2人】

◆久御山町職員の給与に関する条例一部改正について

反対討論　巽　悦子議員

賛成討論　林　勉議員

賛成討論　中井　孝紀議員

【賛成11人・反対2人】

◆久御山町ふれあい交流館ゆうホールの設置及び管理に関する条例一部改正について【全員賛成】

◆久御山町国民健康保険条例一部改正について【全員賛成】

◆久御山町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例一部改正について【全員賛成】

◆久御山町消防団員等公務災害補償条例一部改正について【全員賛成】

◆久御山町職員の勤勉手当ての特例に関する条例及び昭和48年度における久御山町職員の期末手当の割合等の特例に関する条例を廃止する条例について【全員賛成】

国保税条例 賛成討論　中　大介議員

国保特別会計は、数年来一般会計からその他繰入金として繰り入れをおこない、収支のバランスをとっている現状である。今後も増え続ける保険給付費や景気低迷による国保財政の低下などを考慮すると、保険税率等を引き上げることなく制度の維持を図ることは厳しい。

昨年度に続いての引き上げであるが、近隣市町村と比較すると低く設定されている。今回の条例改正案は、町独自の支援策として、その他繰入金に昨年度を上回る8363万1千円を繰り入れることで、必要最低限の税率改正となっており、制度の安定維持のため賛成とする。

国保税条例 反対討論　巽　悦子議員

昨年に続き引き上げである。今回は、医療分の均等割が3500円、後期高齢者支援分の所得割が0・05ポイント、均等割が600円の引き上げだ。政府の指導で、保険税の所得割と均等割りの比率を50対50に近づけているが、所得の少ない加入者ほど負担が大きくなる。国民健康保険は社会保障でありながら、「自助・共助」として国の責任を曖昧にし、国保運営の厳しさを理由にした都道府県広域化の強行は許されない。

住民の生命を守ることは、自治体の重要な役割だ。一般会計からの繰り入れで保険税の引き上げをやめることを強く求める。

常任委員会からの報告

3月6日の総務事業常任委員会は「消防救急デジタル無線整備」や「地域団体での名簿作成」について、7日の民生教育常任委員会では「土曜日を活用した教育」について議論が集中しました。各委員会での質疑応答について報告します。

総務事業常任委員会・協議会

部品の追加・交換で対応できないのか

消防救急デジタル無線整備事業

「消防救急デジタル無線整備（総額1億580万円）」、「地域団体での名簿作成要綱」について、質疑がありました。概要は次のとおりです。

Q　デジタル無線はどこに配備されるのか。

A　消防本部内と消防車に配置する車載用、携帯用を配備する。

Q　システムの置き換えでなく、テレビがデジタル化された時のように部品の追加や交換で対応できないのか。

A　総務省の方針で、平成28年5月31日までにデジタル化にしなければならないため、総入れ替えで対応する。

平成28年度に総入れ替えとなる現在使用中の無線機器（上は消防本部、右は搭載中の消防自動車）

すでに名簿作成できている団体にも適用されるのか

町「地域団体等における名簿作成要綱」の制定

Q　既に名簿を作成されている団体などにも適用されるのか。

A　これまで、名簿作成を希望しながら個人情報保護の過剰反応により、作成できないことが多く見られた。そのような場合に、この要綱を利用していただきたい。

民生教育常任委員会・協議会

地域行事にはばらつきがあるが、回数はどうするのか

平成25年度からの「土曜日を活用した教育」

平成25年度から、「土曜日を活用した教育」が試行的に町立小中学校で実施されます。

実施される内容は、子どもたちの学力向上などにつながるように各学校単位で、授業の公開（参観）や定期テスト前の補充学習、発表会や体験活動などです。原則として土曜日の午前半日単位とし、やむを得ず終日となる場合には、代休を設けます。

質疑の概要は次のとおりです。

Q　地域行事にはばらつきがあるが、回数はどうするのか。

A　おおむね学期に1～2回実施する。各学校の地域との連携があるため、違う日になる場合もあるが、それぞれの学校の特徴を生かしながら実施していく。

Q　スポーツ少年団とのつながりはどうか。小学校でされているが。

A　平成25年度については、平成24年度まで実施されていたもので、土曜日の授業を基本に考えており、日程や回数は調整・協議して実施したい。

土曜日を活用して授業参観が予定されている

5会派が施政方針を問う

代表者質問

３月定例会の代表者・一般質問は、３月12日におこなわれ、代表者質問には５会派の議員が町長の施政方針について、一般質問には５人の議員が町政の当面する課題について、町長の考えを問い、ただしました。

質問の項目などは下記および13ページのとおりで、その主な質問・答弁の要旨を掲載しています。

議　場

質　問　者　（質 問 順）

公明党議員団	戸川　和子 議員	… ８ページ
① 町長の政治姿勢について ② 通学路等の安全対策について		
清　風　会	中井　孝紀 議員	… ９ページ
① 大内川サイフォンの再整備について ② 新しい財源の確保について ③ スマートインター付きサービスエリアの誘致について		
日本共産党議員団	三宅　美子 議員	… 10ページ
① 中小企業振興について ② 都市計画法違反について ③ 文化財保護について		
緑　風　会	河原﨑博之 議員	… 11ページ
① 住民討議会及び事業仕分けの試行について ② 住街区促進ゾーンの開発について ③ 佐山西ノ口地区の開発について ④ 国家公務員給与に合わせた町職員給与の適正化について ⑤ 農業振興対策について		
ネクストくみやま	内田　孝司 議員	… 12ページ
① 行財政改革について ② 農業振興について ③ 教育行政について		

代表者質問

公明党議員団
戸川　和子　議員

Q 自主財源の確保は
A 歳入の確保に結びつくまちづくりをすすめる

質問

歳入の多くを占める、町税収入が平成9年には53億9000万円あったが、近年では43億円台まで減少している。

しかし歳出は年々増加傾向にあり、その財源不足を地方債の借り入れや、財政調整基金などの繰り入れによって補っている。

今後、自主財源確保が、住民にとって大変重要だと思うが、具体策は。

町長

町税や国民健康保険税などの収納率を向上させ、使用料や手数料、負担金なども生活弱者に十分配慮した中で、定期的に見直しをおこなっていく。

現在、進めている計画区域の土地利用の有効性や費用対効果などを総合的に判断していく中で、計画の見直しも含め、住宅施策の促進や産業振興とともに町税の増収につながる取り組みを積極的に推進していく。

Q 企業流失防止対策は
A マル久制度などの企業支援策を継続する

質問

近隣市町村でも積極的に企業誘致をされる中、町内の企業が引き続いて本町にとどまっていただき、事業経営を継続していただくことが、町税収入の確保につながり、安定したまちづくりだと考える。

最近、本町の企業が流失しているように思うが防止策は。

町長

平成15年度から実施している中小企業融資に係る、保証料及び利子補給事業（マル久制度）を融資金利・年利2・3％から1・8％に引き下げて継続するとともに、KES・ISOの認証取得支援や展示会等出展支援などを引き続き実施し、中小企業経営の安定を図っていく。

また、企業が流失しないよう、反対に流入しやすいような本町独自の魅力の創造と発信について検討をおこない、中小企業振興施策の充実に向け、事業者や関係機関から意見を聞き、実態把握に努めていく。

質問

本町全域の空き家・空き地情報を総合的に把握しては。

町長

全国の先進事例などを参考にしながら、調査・研究を早急にしていく。

Q 国道1号 野村地下道バイクの通行規制は
A 警察署と協議していく

質問

地下道を通学自転車と一緒にバイクが通行し、狭い地下道や出入り口にある歩行者だまりで、バイクと自転車が接触しそうで大変危険である。

大きな事故にならないように、せめて朝の通学時間帯だけでも、バイクの通行規制はできないか。

町長

野村地下道の対策は今後警察署と協議していく。

多くの生徒が利用する野村地下道

代表者質問

清風会
中井　孝紀　議員

Q 大内川サイフォンの再整備が必要ではないか

A 多額の費用がかかることから難しい

質問

昨年8月の集中豪雨において冠水被害が発生したのは、大内川の排水能力が毎秒65トンであるのに対し、大内川サイフォンの疎通能力が毎秒33トンしかないために、巨椋池排水機場が持つ毎秒80トンの排水能力を発揮できなかったことにある。

早急に国が進める防災・減災対策の補助金を活用して再整備事業が着手できるように関係機関と協議すべきではないか。

町長

農地防災事業では、一部の水田に30センチ冠水することは許容することとし、これを超える場合でも冠水時間は24時間以内とする基本計画が定められている。

昨年8月の集中豪雨でも農地に冠水があったが、基準を超えるものではない。

大内川サイフォンの再整備には、巨椋池排水機場の処理能力の見直しなど関係機関との協議が必要となることや、多額の費用がかかることから大変難しいものがあると考えている。

質問

水田の転作を奨励されている関係で、今回もネギなどに1億2000万円の被害が発生しており、冠水を許容しているというのは認識が間違っている。

また、久御山町は田畑をつぶして、佐山に病院や、市田に住宅を誘致する施策を進めており、より一層の排水が大内川へ流れてくることになる。

再整備にはお金がかかるから被害が発生してもしかたがないというのは問題ではないか。

サイフォンの再整備以外にも、古川へ直接排水できるようにする方法も有効な対策といえる。

まちづくりを進め、農業を守るために治水対策を進めることは、根本の話であってお金がかかるからという財源の話ではない。

久御山町を守るための治水対策を、どのように考えているのか。

増水した大内川

町長

24時間の冠水を許容する農地防災事業の基本計画は、昔に決められたものであり、時代の変遷と共に転作といった方向性のもとで畑が増えており、冠水していいのかというふうにも思う。

しかし、大きな目で考えると、巨椋池排水機場の80トンという能力は広域的に流れてくる水をどのように出していくのかを、検証のもとに考えていかなければならない。

また、大内川から古川へバイパス的に排水することが、数字的に可能ならば検討の余地もあるかもしれないが、財源も重要な部分であることは事実であり、総合的に勘案しながら国・京都府と連携を取り、必要な要望をしてまいりたい。

Q スマートインター付きサービスエリアの誘致を

A 得策になるなら前向きに取り組みたい

質問

京滋バイパスにはサービスエリアが無く、第二京阪道路には出入り口が無いため、久御山ジャンクション周辺へ、スマートインター付きサービスエリアを国の事業として誘致すべきではないか。

町長

国やネクスコ西日本の動向を注視し、気が付けば宇治に出来ていたということがないようにしたい。また、誘致することが大きな得策になると確証が得られれば前向きに取り組みたい。

代表者質問

日本共産党議員団
三宅　美子　議員

Q 中小企業者の実態調査を
A 全戸調査は困難だが前向きに取り組む

質問

町長の施政方針では景気回復への厳しさを述べた上で、「町内商工施策については、今後中小企業者や関係機関との意見交換をする」と言われているが、具体的にどのような個人・機関か。

町長

意見交換については、町商工会や中小企業家同友会と連携し協議していくなかで、できる限り広く多くの事業所の意見を聞き取れるよう取り組みたい。

質問

これまでも同じような個人・団体と協議してきたが、町に意見を言う機会のない多くの事業所がある。町職員が出向いて、現地で実態調査をするべきと思う。そして、場あたり的な政策ではなく中小企業振興基本条例を作成して、町の方針を作ることが、業者を守り、他からも来ていただけることにつながると思うがどうか。

町長

企業などの調査・全戸調査については、できる限り職員が足を運んで生の声をお聞きして、中小企業施策に反映することが重要であるし、それが根本的な取り組み姿勢としていきたいと思うが、町職員の定数削減もありマンパワー的な部分も限界がある。

全戸調査は、実質的には困難な部分もあると思うが、できる限り前向きな取り組みとして現地の声、企業の方の生の声をお聞きしたい。

中小企業振興条例だが、国の企業憲章が平成22年6月に策定されてから、地方自治体で策定する動きがある。中小企業振興条例を策定することは、町はもとより、中小企業や大企業、町民の役割を明確にしていく中で大きな責務を果すことになる。

まずは、関係団体、業者のみなさんの状況把握に努めていきたい。

Q 寄付を受けた後の管理・運営は
A 当時のままの保存は経費的にも困難

質問

町を代表する文化財の一つである山田家住宅は、寄付を受けることになっているが、今後の管理・運営については明確になっていないために、町民からは疑問の声が上がっている。

寄付を受けた後は、管理や予算・運営をどのようにしていくのか。

また、当初予算（平成25年度）には修理費など149万円が上がっているが、今後の必要な財政をどのようにみているのか。

総務部長

平成25年度の経費は、安全対策の経費を計上している。その後の保存については、今後の財政状況を考える中で、当時のまま保存していくのは経費的にも困難と考える。

今後、保存方法についても慎重に検討する中で考えていきたい。

寄付の受け入れを決めた国登録有形文化財の山田家住宅（東一口）

代表者質問

緑風会

河原崎博之　議員

Q 組織の効率化による給与の適正化は

A 全国的な動向や近隣の対応も視野に入れ検討していく

質問

組織の効率化による職員給与の適正化では、国の制度に準拠した運用を基本に適正な給与体系に努めると答申された。

国家公務員の給与を昨年から2年間、平均7・8パーセント引き下げたことで、久御山町の給与は高くなっているが、どのようにとらえられているか。

総務部長

給与削減の件であるが、平成25年度から第5次の行政改革大綱による行革に加えて、第2次定員適正化計画による職員の削減にも取り組んでいく。

こうした中で、住民サービスの低下を招かないように、本計画では組織、機構の再編や人材育成の推進、再任用の職員の活用などで対応していき、全国的な動向や近隣市町の対応なども視野に入れながら十分検討していく。

Q 住民討議会を開催する思いは

A よりよいまちにするため住民参画の新たな場にしたい

質問

広聴での協働のまちづくりを目指す住民討議会の開催が予定されているが、具体的な取り組み内容および、この協議会をどのようにとらえているのか。

町長

住民討議会とは、これまでの住民懇談会に代わる手法として、住民基本台帳から公平かつ無作為に抽出された住民の中から、この討議会に参加を希望する人がテーマに沿った小グループに分かれて話し合っていただく場である。

話し合った意見は集約して報告書にまとめ、今後の町政に生かしていく新たな広聴の取り組みである。

Q 佐山西ノ口地区の開発による税収効果は

A 土地に係る固定資産税分だけの概算で約1000万円の増収

質問

佐山西ノ口地区は、土地利用促進ゾーンに位置づけされ、都市計画法先行開発区域で、病院の建設が1年先に進められていく。

同土地区画整理事業区域6ヘクタールのうち、今回の先行開発区域の面積は約半分だが、それ以降開発される2期、3期工事への展望および、どれほどの税収効果が期待できるのか。

事業建設部長

西ノ口地区については、開発予定区域の一部分を都市計画法による開発行為の許可により進めることとしている。

次期線引き見直しに合わせて、先行開発区域を含めて組合施行による土地区画整理事業により実施する予定である。

これからのスケジュールでは、府の定期線引き見直しが平成27年に予定されており、市街化区域編入後に許可申請をおこない、そこから事業が進展すると見込んでいる。

税収効果については、土地に係る固定資産税分だけの概算で約1000万円の増収見込みと考えられる。

1年後の開発が待たれる佐山西ノ口地区

代表者質問

ネクストくみやま
内田　孝司　議員

Q 独自のコンピューター授業や英語教育の成果は

A コミュニケーション力の育成につながっている

質問

グローバル化社会、高度情報化社会といわれている。時代を先取りする形で久御山町が取り組んできたコンピューター授業や英語教育の成果は。

町長

発達段階に応じて、情報機器に触れる機会をふやしていき、基本的な操作などを身につけさせている。その結果、学習意欲の向上と学習内容の理解度が増す効果が見られる。

英語教育では、早期に英語に親しむことによって抵抗感が少なくなり、コミュニケーション力の育成につながっていくものと考えている。

久御山中学校コンピューター教室

Q TPP参加による本町農業への影響は

A 国政の動きを注視し、影響を見極める

質問

TPP交渉参加の動向によるが、本町農業にもさまざまな影響が見込まれる。分析と対処はどう考えるのか。

また、農業振興に対して危機感がなく、発展性を感じない。6次産業化法なども施行されており、産業としての農業基盤の強化を計らなければならないと考えるがどうか。

町長

TPP交渉への参加における影響について、国は農産物への影響ははかり知れないとされている。

本町の農業においても同様であり、国の動きを注視するとともに、府をはじめ、各種団体などと連携を図り、対応していく。

農業振興においては、各種団体、農業者などからの意見を聞き取り、担い手・後継者の育成など今後の農業振興施策に反映していきたいと考えている。

6次産業化の視点は、農村などにおける豊富な地域資源を活用して、農村などの雇用確保と所得向上を目指すものである。

本町では、JAの女性部によるみそや久御山町農産物直売所が、ジャムなどの加工品を販売するなど、一連の事業として6次産業化に取り組まれている。

今後も、6次産業化に対する推進内容や体制について、検討していきたい。

久御山町の農業の展望は

Q 行財政改革に伴うアウトソーシングの必要性は

A NPO法人の活用は有意義な方法の一つ

質問

さらなるアウトソーシングの受け皿として、民間の活力を最大限に生かす意味で、NPOなどの設置とその協力の必要性についての考えは。

町長

NPO法人の活用については、今後の行政運営において有意義な方法の一つであると考えている。

自治会や社会福祉協議会などの各種団体との連携を模索し、行政だけでは取り組めない部分を補完するアウトソーシングのあり方を議論していく必要がある。

5人の議員が町政をただす

一　般　質　問

質　問　者（質問順）

田口　浩嗣 議員 一問一答方式 …14ページ ①教職員の資質向上と地域との関わりについて ②高齢者の交通事故防止対策について	**堤　健三 議員** 一括質問方式 …15ページ ①消防行政について ②安全・安心まちづくりについて
島　宏樹 議員 一問一答方式 …16ページ ①久御山町内の道路交通安全対策・管理について ②新地方公会計制度導入について	**巽　悦子 議員** 一問一答方式 …17ページ ①安心安全なまちづくりについて ②高齢者福祉について
塚本五三藏 議員 一問一答方式 …18ページ ①まちの駅バスターミナル使用料徴収条例の制定について ②月一回ののってこバスの無料運行の現状について ③デマンド交通システム導入の進捗状況について	**一括質問方式** 従来からおこなってきた方式で、質問回数は２回までと決められています。 **一問一答方式** ２回目からは、一つの事項を深く掘り下げて何度でも質問ができます。ただし、議員の質問時間は計30分に制限しています。

あなたも議会を傍聴してみませんか。

６月定例会の一般質問は、６月20日㈭　午前10時に開会します。
会議日程や傍聴手続きについては、議会事務局へ問い合わせてください。

■一般質問■

一問一答方式

田口　浩嗣　議員

Q 教職員の資質向上や地域とのかかわりは

A 資質向上と防災訓練を推進したい

質問

あいさつは社会の中で最も重要だが、教職員の中には、目の前を子どもが通っていてもあいさつをしない、子どもへあいさつをするように注意もしない先生を見受けるが、実態の把握と今後の対策は。

また、昼間に災害が起これば学校は避難場所に指定されていることから、子どもや地域の対応を教職員がおこなうことになる。

しかし、御牧小学校と久御山中学校では、地域との防災訓練を実施されていないが今後の対策は。

学校教育課長

久御山学園として、積極的なあいさつ運動を幼・保・小・中の年間を通しおこなっているが、あいさつをしない一部の教職員が存在する事は認識しており、再度学校全体であいさつの必要性を浸透させ『あいさつの町』を目指したい。

総務課長

教職員が地域の皆さんと避難所を運営するためには連携が必要であり、御牧校区でも自主防災の組織化に努めていきたい。

教育長

熱い志を持つ先生に来ていただく事は、教育委員会・保護者、また児童・生徒の願いです。京都府教育委員会へも、教職員の資質向上などの部分も含めた中で、熱い志を持つ先生が久御山町に来ていただけるようお願いしている。今回、3人の学校長が定年退職をされるが、久御山学園の継承と、一層の推進に努めていきたい。

京都府総合防災訓練

久御山中学校あいさつ運動

Q 高齢者の交通事故防止対策は

A 高齢者が運転しなくて良い環境づくりを進める

質問

高齢者が車のブレーキとアクセルを間違えたり、逆走するなどのミスを起こすのは、視力や判断力の衰えが大きいといわれている。

しかし、高齢者にとって生活の中で車は移動手段として必要不可欠であり、免許証を自主返納しても安心して生活がおこなえるように、電動カートや電動自転車に対して補助金を出せないのか。

また、高齢者が自主返納するための支援施策は。

民生部長

要支援・要介護の認定の高齢者には、介護保険制度で電動カートなどの貸与をおこなっているが健常者には考えていない。

建設整備課長

満65歳以上で免許証を返納された高齢者には、7月1日から、住民基本台帳カードの無料交付を実施し返納を促していく。

町長

高齢者事故防止対策として、久御山町交通安全対策協議会や宇治警察署などと連携し、さまざまな機会に啓発をおこない、今、見直しを進めている「のってこバス」をはじめ、公共交通を充実することで、高齢者が運転しなくてもよい環境づくりを進めていきたい。

移動に便利な電動カート

■一般質問■

一括質問方式

堤　健三　議員

Q 東日本大震災派遣隊員のけが、心的外傷後ストレス障害は

A 症状を訴える職員はいなかった

質　問

東日本大震災の被災地へ本町消防本部から何名派遣されたか、また派遣隊員のけがやメンタル面での心的外傷などの状況とその把握は。

消防次長

救助隊員延べ4隊12名および、後方支援隊として1隊2名の合計5隊14名を派遣した。今回の震災に限らず火災現場などで悲惨な現場を目の当たりにする機会が多く、メンタルな部分について常に各隊員の状態を把握しておくことが必要である。

また、本町においては、今回の緊急消防援助隊派遣によるけがや心的外傷後ストレス障害などの症状を訴える職員はなかったものと把握している。

質　問

京都市では緊急消防援助隊出務において条例で特殊勤務手当てが定められているが、本町ではどのようになっているか。未整備なら制度化の考えは。

消防次長

消防吏員（りいん）には消防業務手当てが支給されており、緊急消防援助隊に特化した特殊勤務手当ては支給していない。また、特殊勤務手当ての制度化は考えていない。

質　問

今後も応援要請があると思うが、被災自治体（受け入れ自治体）になにを望まれるか。

消防長

現地に派遣される隊員たちは、消防職員であるという強い使命感で行動しているが、不安な気持ちでいっぱいである。

したがって、これから活動する被災地の状況や情報を一つでも多く提供してほしい。

東日本大震災の被災地の様子

Q 町内で車上荒らし多発その対策は

A 防犯カメラは防犯対策、犯罪抑止に効果があり検討したい

質　問

町内で車上荒らしが増えており、防犯カメラ設置など、警察と連携しながら犯罪防止の取り組みが必要ではないか。

総務課長

防犯カメラの設置については、防犯対策、犯罪の抑止に効果的である。

今後も警察、関係機関と連携協議するなかで検討したい。

Q 小中学校に防犯カメラの設置はできないか

A 学校の安全対策のためには検討したい

質　問

大阪の附属池田小学校児童殺傷事件から早くも12年が経ち、あの事件は社会に大きな不安と悲しみをあたえた。

当時、不審者を学校に入れないようにするのにはといろいろ議論され、結論として防犯カメラを取り付けた学校があった。

全国各地で凶悪事件が発生するなかで、児童の安全を守るために防犯カメラが防犯対策、犯罪抑止のため必要ではないか、教育長の見解を求める。

教育長

防犯カメラは犯罪の抑止、犯罪の捜査でその効果は大きい。そうしたことから設置に向けて目的、また撮影の範囲を検討するなかで、学校の安全対策のため検討する。

防犯カメラの設置を

■一般質問■

一問一答方式

島　宏樹　議員

Q 公有財産管理システム導入の進捗状況は

A 確認作業をほぼ終え、年度末までに完了する

質　問

財政の健全経営のための新地方公会計制度の導入は、本町でも総務省方式を採用しシステム化が図られつつあるが、その導入の基礎となる公有財産台帳の整備の進捗状況は。

企画財政課長

公有財産管理システム導入は、昨年、株式会社パスコと業務委託契約を締結。これまで町の土地・建物の紙台帳と税データである固定資産台帳との突合作業をおこない、法務局へ土地の登記事項証明書の依頼や公図の閲覧をおこない、昨年12月末までに確認作業をほぼ終え、不突合となっている土地や管理所管課の確認の照会をおこなっている。今後は、入力したデータをもとに、新地方公会計制度に対応した資産額の算定と評価を年度末までに完了する。

質　問

組織改革があるが、公会計の導入は今後も同じ所管部署で継続作業するのか。また、職員全体に財務諸表の使い方などの研修の予定はあるのか。さらに外部委託をする考えを町長は持っているのか。

企画財政課長

今後も企画財政課が中心となり財務諸表を作成する。活用が一番重要と考えるので、全庁的な職員研修を含め今後進めていく方向を考えている。

町　長

これから財務諸表の公表などをおこない、どう使っていくかが大きな課題であり、先駆けて職員研修もおこない、見極めた上で計画をしていく。また、費用対効果も含めアドバイザー的なものも検討していく。

Q 道路交通安全施設などの管理はどこがしているのか

A 規制標識以外は久御山町で管理している

質　問

道路には、道路標識、道路標示、カーブミラーなどさまざまな施設があるが、どこが管理しているのか。

また、年間で補修・改修は何件くらいあり、どれくらいの期間で修繕ができるのか。

建設整備課長

道路交通法に基づき警察公安委員会が信号機や規制標識、横断歩道などを管理し、カーブミラーやガードレール、区画線などを町が管理している。

管理施設は、職員と受託者が一緒にパトロールを実施し危険箇所の把握をしている。また、通行者や地元からの情報をもとに現地確認し補修を実施している。

一方、警察が管理する施設は、得られた情報の提供をおこない早期の補修を要請している。

補修件数は、カーブミラーの新設や標識、啓発看板、ガードレール、区画線を含め年間で約25件、交通安全灯は約180カ所の交換を実施している。警察が管理している施設の補修には約2カ月位かかる。

質　問

補修の間、白線が消えていれば非常に危険な道路である。横断歩道や停止線、標識の維持管理は、警察や公安委員会が定期的なパトロールやチェックをされているのか。

また、久御山町で定期的なチェックをするシステム化は考えていないのか。

建設整備課長

規制標識を管理するシステム的なものはない。本町では、年度初めに交通安全施設の補修業務を年間300万円前後の費用で業者委託をしている。定期チェックのシステム化は難しいが、職員などが外に出たときに状況を把握していく。

きれいに補修された道路標示

■一般質問■

一問一答方式

巽　悦子　議員

Q 昨年8月の南部豪雨 教訓活かしたまちづくりとは

A 災害対策本部の運用・対応を徹底する

質　問

昨年8月の京都南部豪雨災害の教訓は、まちづくりに活かすべきだ。見解はどうか。

建設整備課長

新年度では、よく冠水する市田・島田線の排水路改修と排水路が未整備な東一口を整備する。整備基準については関係機関と協議や多額の費用が伴うため、今後の課題としたい。

質　問

名木川も溢水したが、河川についての対策は。

建設整備課長

京都府は古川改修（川の流れる面積を大きくする掘削）をすると聞いている。町独自の河川改修は、基準の見直しが必要なため今後検討したい。

都市計画課長

数年前の開発では、面積1㌶を越える開発については調整池をつくったが、それ以前の古い開発は、調整池が必要だが当時は指導がないことからできていない事業所がたくさんある。建て替えや増築の場合に調整池までの指導はできないが、それに見合う施設をつくるよう指導している。

総務課長

2月に管理職研修で宇治市の災害課題と対応策の説明を受け、今日までのマニュアルだけでは対応できないことを学んだ。

従来にもまして災害対策本部の運用を職員が熟知し、即座に対応できるよう徹底したい。

Q 佐山保育所の耐震化は前倒しで実施を

A 今後については平成25年度に考えたい

質　問

佐山保育所の耐震性能指標は0・47。一昨年6月議会での答弁では、平成25年度以降に考えたいとのことであったが、予算計上されていない。一体、いつまで安全が確保できていないところで生活をさせるのか。

3小学校の給食室についても、耐震診断の必要性は認めたが、いまだに実施されていない。いつやるのか。また、概算費用は。

学校教育課長

平成25年度に検討なり計画に入り、計画が整ったら平成26年度の実施計画にのせたい。

佐山保育所の耐震工事見込み額は、4000万円。給食室の耐震診断は、1カ所100万円。

耐震化が急がれる佐山保育所

質　問

命を守る手段としては高いのか。

町　長

決して高いものではないと思う。

質　問

学校には防災マニュアルはあるが、保育所にはあるのか。

学校教育課長

保育所には現在、明文化されたものはない。

質　問

佐山保育所の0・47とは、震災の6強で倒壊の恐れ・危険がある。前倒し実施が必要だが。

町　長

今後については、平成25年度に考えたい。

Q 福祉用具購入・高額介護サービス費用も受領委任払い制度の創設を

A 町村レベルの体制もあり検討したい

質　問

現在、住宅改修の受領委任払い制度を実施している。福祉用具の購入費や高額介護サービス費も、費用の受領委任払い制度を創設すべきだ。

長寿健康課長

住宅改修の受領委任払い制度を1月から導入したばかり。利用実績・事務的課題を整備し、拡充するか否か検討したい。

質　問

本来1割なのにまず、10割払わなければならない。久御山町がいずれ給付として出すもので、不可能ではないと思うが。

民生部長

すごくいい制度だと思うが、町村レベルの体制というところもある。今後、検討・検証したい。

■一般質問■

一問一答方式

塚本五三藏　議員

Q バスターミナル使用料徴収条例制定は

A 見直しに際し非常に興味ある提言である

質問

電気事業者などからの占用料と、自販機を設置する業者や住民が公共施設を利用する使用料を払っていることから、民間の乗合バス事業者に、まちの駅バスターミナル使用料を求めることが、公平性からみて妥当である。

第5次行革大綱の重点項目に、歳入確保の推進において、使用料や手数料は、住民負担の公平性や受益者負担の原則に基づき、定期的に見直すとある。

そこで町長が掲げている、徹底した行革を進めるということから、収入源の一つとして公有財産であるバスターミナル施設使用料徴収条例を制定し、徴収することが当然と思うがどうか。

事業建設部長

公有財産使用料については、公共施設を特定の事業者等が利用する場合に発生する料金で、公有の財産を使用されるに当たっては、やはり、受益者に負担いただくのが基本である。

町長

第5次行政改革大綱において、まちの駅バスターミナルの使用料だけでなく、町全体にわたって、見直しをしていきたい。また、バス会社の使用料に関して、どういった事ができるか、非常に興味ある提言と思うので、検討していきたい。

まちの駅クロスピアくみやまとバス停

Q のってこバスの無料運行の現状は

A 無料運行（バスの日）を廃止するかを検討する

質問

利用率の向上を目指した、月一回の無料運行に係る経費および現状は。

のってこバスの無料運行は、期間を設定し分析と検証が必要である。現段階では費用対効果に疑問があるので、無料運行を休止して、その費用をもっと有効に使ってはどうか。

都市計画課長

無料運行は、平成19年の運行に合わせて開始した。昨年4月から今年1月までの調査では、月一回に係る経費は約50万円で、東ルートは平日1便3・1人が無料の日1便6・3人、西ルートは平日1便5・5人が無料の日1便27・1人の利用があった。

今後、のってこバスの見直しやいろいろな検討を進めていくなかで50万円払っているので、無料運行の廃止など検討していかなければと思う。

Q デマンドタクシーの進捗状況は

A 費用対効果も考慮し検討する

質問

町長が公約で掲げている、デマンド交通システム導入の進捗状況は。

都市計画課長

のってこバスの利用状況が伸び悩んでいる中で、導入の可否を検討しており、タクシー会社へのヒアリングや現状のバスとの比較検討、府内の実施状況の調査をおこなう。

今後は、デマンド交通を実施している地域の視察研修やタクシー会社を含めた久御山町地域公共交通会議で意見を聞くなど、費用対効果も考えながら検討していく。

閉会中の事務調査

送水管理は？介護福祉施設とは？

各常任委員会では、定例会がない時も担当所管の出席を求め、町が実施している事業などの調査をおこなっています（閉会中の事務調査）。２月におこなわれた総務事業常任委員会と民生教育常任委員会の調査内容をお知らせします。

総務事業常任委員会（2月13日）

浄水場の運転監視と送水管理

＝府営水道広域浄化センター視察＝

京都府営水道事務所の広域浄化センター（宇治市）で、広域水運用と耐震化事業及び耐震管について、現地調査をおこないました。

京都府広域浄化センターは、安心・安全な水を安定的に供給するため、浄水場の拠点として運転監視及び送水管理の集約一元化を図ることを目的として設置されました。

送水管の耐震性能について説明を聞く

京都府営水道は、宇治浄水場、木津浄水場、乙訓浄水場の３浄水場を接続し広域的・総合的な水運用を図るため、平成22年度に久御山広域ポンプ場（久御山町野村）を建設しました。久御山広域ポンプ場の水運用システムは、大型ポンプにより23キロ離れた木津川市、標高差80メートルある向日市、水量の多い宇治市への送水が可能となり、仮に木津浄水場で水供給が不能となった場合でも、宇治浄水場と乙訓浄水場からの配水を久御山広域ポンプ場に集め送水することができ、緊急時への対応が可能となりました。

耐震化対策については、宇治浄水場は平成23年度に耐震化工事が実施済みで、久御山広域ポンプ場は、洪水時への対応及び耐震性については当初から考慮されており、送水管74キロのうち45キロは耐震管ではないので、今後、調査・設計をおこない、平成26年度から耐震化工事に着手するとのことです。また、耐震管については最新技術であるダクタイル鋳鉄管ＧＸ型を平成23年度から採用しているとのことでした。

民生教育常任委員会（2月15日）

介護保険施設と地域包括支援センターの役割とは

介護保険で、被保険者である利用者にサービスを提供できる施設が介護保険施設です。

介護保険施設には、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の３種類があり、要介護認定者が利用できます。

町内唯一の介護老人福祉施設（坊之池）

介護老人福祉施設は、日常生活上の世話をおこない、家庭での介護が難しい65歳以上の方の入所施設です。

介護老人保健施設は、病状が安定期にあり、医学的管理下での介護、機能訓練などを必要とし、在宅の生活への復帰をめざす施設です。

介護療養型医療施設は、療養病床などをもつ病院・診療所の介護保険適用として入院する要介護者に対し、必要な医療をおこなう施設で病院が設置します。しかし、平成30年３月31日までに介護老人保健施設などに転換されるため、平成24年４月以降の新たな指定はされていません。

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、保健・医療・福祉サービスを必要に応じて総合的・継続的に提供し、地域で包括的な支援をする総合的機関です。平成18年４月に開設した久御山町地域包括支援センター（運営は社会福祉法人「八康会」に委託）は、介護予防ケアマネジメント、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援などです。また、運営の公平性・中立性を確保するため、久御山町地域包括支援センター運営協議会を設置しています。

会派研修レポート ❶

自然エネルギー100パーセントをめざす

◆日本共産党議員団　視察報告（1月30日～31日）

中土佐町（高知県）

県内初の公立美術館

町内4地区のうち大野見地区、久礼地区が国の文化的景観に選ばれている中土佐町は、伝統文化の継承と町外からの観光も見据えたHPやパンフレット作りに工夫を凝らしています。

四万十川最上流域の大野見地区は、石積みの頭首工（堰）で農業用水を確保し、「沈下橋（欄干がない）」で川の増水から人々の生活を守っています。

久礼地区の久礼の港は、漁師町と一体となった港で、中土佐町の「鰹一本釣り」は、人と鰹が共生する知恵といいます。

また「郷土に文化の土壌を」と、町出身の故野田菊一氏から土蔵造りの建物と約160点の絵画や寄付（基金として現在も活用）を受け入れ、1989年に県内初の町立美術館を運営しました。

現在約600点収蔵する県内初の公立美術館（中土佐町）

梼原町（高知県）

小水力発電所の電気は梼原中学校と街灯で使用

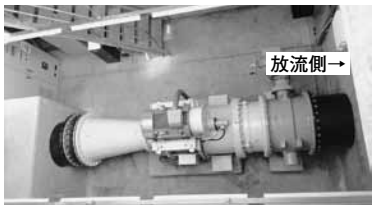
「新エネルギーを活かす四万十源流域での取り組み」を実践している梼原町は伊方原発から50キロ圏域にあります。

現在、風力、水力、太陽光、また中学校と街灯に供給している小水力発電など、自然エネルギー100パーセントの町を目指しています。

さらに環境モデル都市として、宿泊体験型「CO_2を出さない家」の建築にも取り組んでいます。

＜上＞梼原町の水路式小水力発電は、最大57ｋｗ。取水口⇒ヘッドタンク⇒水圧管路⇒落差を利用⇒発電⇒放流
＊発電に要する水は、最大毎秒1.2㎥
白く写っている放流水の手前に発電で使用した水の排出口がある。

＜下＞発電用の水車（チューブラ水車）



会派研修レポート ❷

学校生活で苦戦している子どもを支援

◆公明党議員団　視察報告（2月6日～7日）

ワークスみらい高知（高知市）

「仕事をちょうだい」から「一緒に事業を」

NPO法人ワークスみらい高知の竹村代表は、今までの福祉の考えは、企業に対して「仕事をちょうだい」というスタンスだった。だからティッシュの袋詰めなど、内職レベルの仕事しかもらえないのが現状だ。

「一緒に仕事を生み出しませんか」ということで、はじめてビジネスが生まれる。

恩恵や慈善ではない、双方にメリットのあるビジネスを構築することが、これからは必要と考え、有限会社を設立し、障がい者の就労支援のためにカフェなどの経営を始められた。

その後、いろいろ経験され、NPO法人としてお弁当とケーキ屋さんからスタートして、現在カフェレストランやスイーツ製造工場など6店舗で、約100人の障がい者が就労し、売り上げは5億円を超えるようになったとのことです。

「1社が1人の障がい者を雇用する。それが100社に広がると100人の雇用が生まれる。そういった社会になれば、私たちのような事業所はいらなくなるんです。」と熱く語られたのが印象的でした。

にぎわう土佐茶カフェ（空席待ちも）

アスパルこうち（高知市教育研究所）

子どもが安心して自己表現できる居場所

高知市教育研究所では、教育相談班、特別支援教育班、教職員研究班に分け、学校との密接な連携のもと、子どもたちや保護者のニーズに応じた支援・指導に取り組んでいる。

特に教育相談班では、同センターを利用し、学校に行けない、学校での生活に苦戦している子どもたちを、心身ともに元気にさせ、楽しく意欲を持って学校で過ごし、進路に向けて自己実現していくことを目指し、支援している。

住民の声を聞く

久御山町議会

地域懇談会の報告

久御山町議会は、開かれた議会づくりと議会活動の充実を目的に、住民の皆さんの声をより広く聞かせていただき、議会活動のさらなる活性化を図るため、「スタートした平成25年くみやま」をテーマに地域懇談会を実施しました。その内容をお伝えします。

4月13日㈯　午後7時～9時

会場：ゆうホール

◆住民参加者：14人
◆議員：14人
◆参加された皆さんの声
　木津川増水時の流れ橋（上津屋橋）の流出について／災害時における対応について／捨て猫対策について／町人口の減少対策について／議員報酬について／栄３・４丁目通学路等の安全対策について／住街区促進ゾーンと周辺農地の治水対策について／佐山西ノ口地区の開発について　など

○お聞きしましたご意見・ご提言・ご要望につきましては、会場でお答えさせていただいた事のほか、議長が重要と判断しました案件につきましては、行政に報告いたしますとともに、議員各個人が今後の議員活動のなかで取り組んでまいります。
○地域懇談会は、定例開催以外にも各種団体からの申し出がありましたら、必要に応じて開催します。

議会政策討論会を設置

町議会では、住民の皆さんに公開のもとで政策を提案・討議し、議員間の共通認識の醸成を図るとともに、提案した政策の課題を明らかにし、今後の議員活動に活かすため、町議会政策討論会を設置しました。

討論会で取りまとめられた意見などは、常任委員会や特別委員会での政策立案、執行機関への政策提言などのために、活用します。

来年2月ごろに開催予定ですので、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

春のたより

久御山町の小松菜は、都市近郊という地の利を生かし、府内でもトップクラスの販売高を誇っています。

私達もこの2年間、「親しまれる紙面作り」として工夫をこらし、全国の『議会だより』のトップクラスを目指してきました。私達の思いが伝わっていましたら幸いです。

本号が最後の編集です。次号からは、新たな編集委員でスタートしますが、今後とも『議会だより』のご愛読をよろしくお願いします。

広報特別委員会

委員長　巽　悦子
副委員長　中　大介
委員　岩田　芳一
委員　河原﨑博之
委員　中井　孝紀
委員　樋口　房次

プロへの階段を駆けあがれ！

京都橘高等学校3年生（佐山在住）

小屋松（こやまつ） 知哉（ともや） さん

ホープ登場⑲は、全国高校サッカー選手権大会で準優勝した京都橘高校のエースの小屋松知哉さん（17歳）です。

写真：産経新聞社

小屋松さんは、佐山小学校1年生の時に参加した久御山バイソンズのサッカー教室がとても楽しかったことから、「うまくなりたい」と入部します。

当時の思い出は、「とにかくドリブルを徹底的に教えこまれたこと」が印象に残っているそうです。

久御山中学校時代は、京都の優秀な選手が集まる「宇治FC」に入部し、見ている人が楽しい戦術的なパスサッカーを経験します。

当時から、京都トレセン、関西トレセンに選ばれるなど頭角を現し、フランス遠征の大会では、世界のレベルの高さに衝撃を受けたそうです。

その後、宇治FCは全国ユース（U―15）サッカー選手権大会でベスト8へ進出する活躍を見せます。

高校の進路は、地元の久御山高校へ進もうかと悩んだようですが、京都トレセンのコーチをされていた京都橘高校の米澤監督に声をかけていただき、全国への一歩を踏み出します。

1年生から早くもスーパーサブとして活躍し、2年生では、エースナンバー「10」を与えられ、京都橘高校のエースとしての責任感が芽生えたようです。

全国大会の京都予選では、小屋松さんの調子はあがらず厳しい状態でしたが、なんとかチーム力で勝ち上がってきました。準決勝からは調子があがりだし、決勝戦でも得点を決めて、夢だった「全国」への切符をつかみます。

全国大会では一回戦から「橘旋風」を巻き起こし、仙頭選手との2トップが爆発し一気に頂点へと駆け上がっていきます。

決勝戦は、大雪で順延となる波乱が待ち受けていました。再試合の決勝戦は、延長でも決着がつかずPK戦で惜しくも破れますが、小屋松さんは得点王・アシスト王・優秀選手に選ばれました。

また、高校選抜にも選ばれて、ヨーロッパの大会にも出場し、今までのプレーが通用したことから、将来は世界で活躍したいと思ったそうです。

3年生になってからキャプテンとしてチームを引っ張りますが、今後の目標は、「もう一度全国大会に出場し、全国制覇と得点王に輝きたい！」と明確です。

その後は大学へ進み、将来はプロで活躍したいと力強く語ってくれました。

キミなら出来る！必ず夢をつかめ！ガンバレ小屋松知哉さん！！

（聞き手・文／広報特別委員会）

表紙の「くみやま」を書いたのは

御牧小学校２年生

岸（きし） 侑吾（ゆうご） くん

学校ではドッジボールが流行っていて、休み時間には友達と楽しく遊んでいるようです。

勉強は、算数と体育の大縄跳びが大好きです。

運動が大好きなのでスイミングにも通っていて、背泳ぎもできるようになっています。

将来はオリンピックへ出て、北島康介選手のように金メダルを取るのが目標です。

久御山町初のメダリストを目指して頑張って！

発行／京都府久世郡久御山町議会・編集／広報特別委員会
〒613-8585　京都府久世郡久御山町島田ミスノ 11　TEL 075(631)9996・0774(45)0105　FAX 075(632)3000
E-mail　gikai@town.kumiyama.lg.jp
この広報紙は、環境にやさしい植物性インキを使用しています